



杉本 健三 議員

國島市長に

出馬要請

問早朝の市民との面談、地域へ出かけての市民との対話集会開催、行財政運営の改革などをはじめ、数々の実績を考えると、市長候補者は國島市長しかいない。高山市政クラブは國島市長に出馬をお願いしたい。

答関係者と相談して会期中に態度を決めたい。

行財政運営の検証

問高山市は合併した時、借金にあたる起債残高が1,147億9千万円あったが、414億5千万円が返済され、36%減った。また、職員数は1,250人から353人減員となり28%減った。高山市が合併した後に、起債残高、職員数合わせて高山市より改善された

自治体は、人口の少ない二市だけで、合併した自治体では高山市より改善された市はない。むしろ合併して起債残高や職員数が増えた自治体は多くある、合併した事による行財政運営をどう思うか。

答財政力指数は合併当時より良くなってきた。将来の子ども達に負担がかからないようにしていきたい。

サッカー場の整備

問今年開催されるワールドカップやFC岐阜などでしこジャパンなどで、サッカー熱が盛りあがってきている。特にFC岐阜は元日本代表のラモス、川口、三都主が加入し好調である。市内にはサッカー専用の施設を作っ

て欲しいという声があるが高山市の考えは。
答サッカー施設の整備については、サッカー関係団体や利用者からも意見を聞きながら、今後も継続して検討していきたい。



テニスを楽しむ人のために

問市内で登録しているテニスチームに所属している人数は1,100人いる。中山公園テニスコートは土のコートのため、雨が降るとしばらくの間使用できない。人工芝のコートにできないか。
答中山公園テニスコートの人工芝化については、他のスポーツ施設の改修整備など、総合的に勘案しながら、今後検討していく。



松葉 晴彦 議員

血管を守る方策は

国保特定健診を基に血管を守る方策は

問対象者は。

答特定健診の対象者は40歳から74歳までの17,922人で、受診率は51.9%。また、保健指導実施率は92.5%である。

問重症化してからの医療費はきわめて高額であるが、その実態は。

答脳卒中手術は6か月入院を含め900万円、人工透析は年間600万円、心臓手術は250万円となる。

問団塊の世代が後期高齢者になる時期には、市の財政は社会保障費だけで危機的な状態となることも考えられるが、その対策は。

答継続して健診に力を入れ、特に脳血管疾患、

心臓マヒ、糖尿病対策のため心電図検査、総コレステロール検査、食事や運動など生活習慣の改善指導を強化する。

問バランス食学習会の目的と対象者は。

答特定保健指導の対象822人が対象であり、年齢や体格、健診データに基づいた食事等実践の中から食生活を見直す機会の場を提供している。

道徳教育と各学校の教育目標は

問道徳の教材資料は感動するものが多いが、どのように選定しているのか。

答児童・生徒の「ものの見方、考え方、感じ方」を大切に、押しつけではなく、仲間の意

見から新しい価値を見出したり、新たな一歩が踏み出せるような資料を選んでいく。
問各学校の教育目標はどのようにして決まるのか。

答それぞれの地域の子どもに教育に係る強い願いと自立、協働、創造の理念を組み合わせたものが多い。

小・中学校音楽会について

問平成26年の音楽会は50回になるが。

答50回という大きな節目であり、合併十周年であるので、校長会や音楽主任会、子どもたちと共に考え、心に残る音楽会を計画したい。

